

# 広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 [代表]

## 人口

— 6月30日現在 —

9,268人 男 4,502人 女 4,766人

世帯数 2,593

転入 29 出生 8

転出 45 死亡 5



第276号 8月  
昭和57年

### 「夜市」

浴衣姿の若い娘さんがワタ菓子や大福を大事そうに抱え、裸電球の下では金魚すくいやチビっ子の歓声がはじけます。昔ながらの情緒をかもし出す夜市。本町では風鎮祭の夜の風物詩としてすっかり定着しました。夕涼みがてらにワタ菓子、オモチャ、金魚すくい、焼きスルメなどの夜店をのぞくと、そのふん囲気は昔と全く同じ。子供には夢を大人には郷愁を—このへんに夜市の人気の秘密があるようです。

税は納期内に納めましょう

### おもな内容

- ☆ 増える事故死にブレーキ.....(2)
- ☆ 野尻小、惜しくも三位(子供自転車大会).....(3)
- ☆ 盛り上げよう「風鎮祭」.....(4)
- ☆ 幼キジ90羽を放鳥.....(5)
- ☆ 初盆を迎えるご家庭.....(6)
- ☆ 待望のゲートボール場が完成.....(7)

火事・救急車は②1119へ	8月5日	8月29日	8月22日	8月15日	8月8日
	馬原	平田	小林	村上	後藤
	②0646	②0216	②0075	⑤0336	⑦0019

診療は午前9時から午後5時まで

# 町民文芸

## 肥後狂句

患者募集にさるかなん  
むこう煮詰まるオデン鍋  
機械が田植えて呉る  
あけて天まで届け応援歌  
楽しみイ医者通いさす  
生きた人生送らす  
たじたじ 四選阻止の旗立つ  
人こそ知らね 佳吟、勝句は媽の作  
たじたじ 劫争いで負けさした

## 俳句

若竹の伸びし日和や風静か  
下刈の杉太りゆく吾も老ひ  
暑氣払ふだるま絵入りの洗団扇  
空梅雨やテレビに写る水不足  
祖母見えす霧に包まれほととぎす  
安らぎを夏炉にあづけ雨の日は  
戴きし梅で情の梅酒漬く  
薬草を残り草引く日課かな  
滴りの峠越えゆくこれも縁  
詩心誘ふ峠路風薫る  
アルパムに心惹かるる戻り梅雨  
幼児と毛虫のゆくえ梅雨晴間  
湯上りの頬美しき天の川  
久し振り雨に感謝の祭り唄

浦塚 南天  
林田 一声  
岡本 琴司  
馬原 馬笑  
篠田 凡才  
林 不忘  
田上黙公子  
石田 詩朗  
山村 不覚

熊谷 紫雲  
野尻さだむ  
野尻 誓道  
草村 鶴代  
熊谷起代女  
草村あつ代  
瀬井てる女  
野尻いく代  
甲斐 菊江  
恵良あや女  
馬原その女  
長友たつ子  
野尻 里女  
桐原 久子

### 雑詠

湯の里荘 今村美園

○草部の歌謡クラブの慰問団  
唄に踊りにホームはなやぐ  
○ハンニヤの面をつけての大大鼓  
ばちのさばきの音鳴りわたる

### (二) 寄付

ありがとうございました

- ◎町社会福祉協議会  
△香典返しにかえて▽  
▽高森天神の後藤喜芳さんから(妻、キヨメさん・49歳死去) △一般寄付▽  
▽高森下町の後藤紀利さんから病
- ◎老人クラブ関係  
▽片口の甲斐幸男さんから片口老人クラブへ金一封  
▽河原の後藤唯利さんから河原福寿会へ金一封
- ◎その他の寄付  
▽草部社倉の甲斐省三さんから草

### おめでたおくやみ

S57.6.16~7.15 受付

出	生	(出生児)(性別)	(出生年月日)
旭通	土村 等	麻衣子 女	57.6.7
横町	中山 秋広	富 秋 男	6.17
小倉原	勝木 英雄	秀 隆 男	6.22
戸狩	荒牧 蘇一	和 江 女	6.21
冬野	渡邊 浩二	由 紀 女	6.30
洗川	後藤 初巳	美 和 女	7.1
河原	白石 吉勝	はたる	6.12

死	亡	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
小倉原	村上 繁	母	村上ケサカ	74	57.6.17	
天神	後藤 喜芳	5女	後藤キヨメ	49	7.2	
上町	吉良 多代子	夫	吉良 茂	69	7.3	
昭和	竹林 松子	夫	竹林 力男	66	7.9	
草部	甲斐 省三	母	甲斐ナツノ	71	7.11	
河原	後藤 唯利	母	後藤ミツル	90	6.28	

結	婚	(氏名)	(住所)	(婚姻届年月日)
(夫)	谷川 憲二	高森・上在	57.6.22	
(妻)	(後藤) 栄子	高森・上在		
(夫)	楠木野満藏	上色見・西中原	6.28	
(妻)	(青木) 美代子	蘇陽町		
(夫)	楠木野泰吉	上色見・西中原	7.9	
(妻)	(馬場) 厚 美	菊陽町		

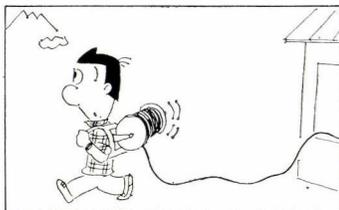
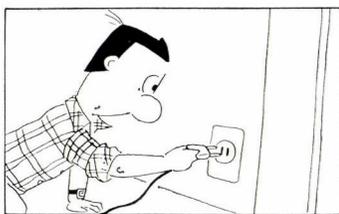
### 編集後記

▼本号では夏の交通事故防止運動をトップに編集してみました。ご承知のように、今夏は交通事故死者数が異常増加の傾向にあります。車を運転する人はもちろん、歩行者も今回のキャンペーンを十分認識されて、事故絶滅にご協力ください。▼町が募集中の町花・町木は、十日で締切り、審査委員会に選定されます。来月号の紙上で発表できると思います。なお、町歌の締切りは八月三十一日。作品をお待ちしています。

一部母子会と草部老人クラブへ金一封

# さわやか君

西村 宗



だれでも昔山に來られたならば、沿道にたくさんのお花が植えてあるのに気がつくられることと思います。橋の両脇の桜に始まり、アジサイ、ツツジなどが植えてあります。そして、部落にはいると草花です。春にはチューリップ、水仙、夏にはグラジオラス、ダリ

菅山 遠山 篤雄

## 村の花屋さん



このページは、みなさんから寄せられた原稿で編集するページです。身近な話題や、できごと、提言などをお待ちします。原稿のあて先は役場総務課広報係。住所氏名、年齢、職業をお書きください。紙上だけ匿名扱いできます。また「わが家の王様」に登場させたい方などご紹介ください。

ヤ、秋にはコスモス、サルビア等。四季折々の花々が咲きほころび、通る人たちの目を楽しませてくれます。これらの花は、みんな遠山スエトさんという八十三歳のお婆ちゃんが植えられたものです。スエトさんのご主人は、旧草部

村当時に助役・村長を十数年もされた方です。さて、このお婆ちゃんの一日は、新聞を読むことから始まり、その後、天神様の掃除、花の手入れと余念がありません。そればかりでなく、ゼンマイ、ワラビ、薬草採り、ギンナン拾いと、近くの山野を歩き回っておられ、八十三歳とは思えないほど先気です。ところで、このお婆ちゃん、たいへんな人情家でもあり、昭和二十七年の六・二六水害では、罹災者のために、いち早く多額の義援金を贈られ、また、正光寺の石段も寄贈されたと聞きます。全く無欠のお婆ちゃんです。



山鳥の岩下さん

民謡を趣味に日ごろからノドを鍛えていた色見山鳥の岩下徳雄さん(五〇)は、このほど東京の都立体育館で開かれた「日本民謡民舞春季大会」(財団法人・日本民謡協会主催)の老年の部に出場して、みごと二位に入賞されました。

岩下さんは、腹の底から歌い上げる日本のふるさとの歌に魅せられて、仕事の合間や民謡教室で練習を続けていました。

## 風景入り日付印のご利用を

高森郵便局

風景入り日付印の使用が認められ、八月十七日「風鎮祭」を期に使用を始めることにしました。

日付印の図案は、根子岳、高森峠、それに鍋の平キャンプ場が描かれ、郷土の便りにうってつけ。四十円以上の切手ははってある書状か、郵便ハガキに使用できます。

高森郵便局では、「高森」PRのためにお気軽にご利用を」と話しています。ご希望の方は窓口へ。

## 夏の交通事故防止運動

### 過労・居眠り防止を呼びかけ

によると、九人で同百三十六人の増と異常な増加を見えています。今年にはいって六月三十日現在の事故件数は三千九百二十五件で、昨年同期に比べて百十五件の増加。とくに死者は七十

に一時停車したところ、わき見運転の十一ト大型冷凍車が追突。追突された車が中央線をオーバーして対向してきた四トダンブと衝突しました。このため、普通乗用車の運転手と助手席に乗っていた人が即死、後部座席の人と四トダンブの運転手が意識不明の重体となりました。というものです。

毎年、夏季には、このように交通事故による死者の数が増加していますが、昨年の七・八月についてみると、わずか二カ月間に、県下で十五人(年間死者の一四・六%)もの尊い命がなくなっています。これらの死亡事故の原因は先ず、わき見運転のほか、過労による居眠り、速度の出し過ぎ、無理な追い越し、酒酔いなど無謀な運転によるものが大部分を占めており、一方、歩行者も飛び出し、車輻の直前、直後の横断など交通ルールを無視したことが主な原因のようです。

このため、町では警察、交通安全協会、関係機関とともに、七月二十一日から展開中の「夏の交通事故防止運動」に力を入れている

## シートベルト着用の推進も

県警が一人、昨年を大幅に上回る三十一人の増。傷者も四千八百二十一人の増。死者も四十八人の増。中を普通乗用車が右折するため、中央線寄り

てみると、わずか二カ月間に、県下で十五人(年間死者の一四・六%)もの尊い命がなくなっています。これらの死亡事故の原因は先ず、わき見運転のほか、過労による居眠り、速度の出し過ぎ、無理な追い越し、酒酔いなど無謀な運転によるものが大部分を占めており、一方、歩行者も飛び出し、車輻の直前、直後の横断など交通ルールを無視したことが主な原因のようです。

このため、町では警察、交通安全協会、関係機関とともに、七月二十一日から展開中の「夏の交通事故防止運動」に力を入れている

総理府広報室がシートベルトの着用状況について世論調査を行ったところ、高速道路に比べて一般道路の着用率はグンと落ちていきます。ところが、交通事故の六五%は市街地の一般道路で起きています。また、自動車乗車中の死亡者を見ても、高速道路よりも一般道路での死亡者が圧倒的に多いのです。シートベルトを締めないなかったため、自転車なみの十九歳というスピードで死亡したというケースもあります。シートベルトの着用は「安全へのパスポート」ということができます。ほんのちよっとの距離でも、面倒がらずにシートベルトを締めましょう。



6月27日長陽村の国道57号線で起きた事故

## 65%は一般道路で発生

交通事故の世論調査から

総理府広報室がシートベルトの着用状況について世論調査を行ったところ、高速道路に比べて一般道路の着用率はグンと落ちていきます。ところが、交通事故の六五%は市街地の一般道路で起きています。また、自動車乗車中の死亡者を見ても、高速道路よりも一般道路での死亡者が圧倒的に多いのです。シートベルトを締めないなかったため、自転車なみの十九歳というスピードで死亡したというケースもあります。シートベルトの着用は「安全へのパスポート」ということができます。ほんのちよっとの距離でも、面倒がらずにシートベルトを締めましょう。

## 民謡全国大会

### 今月の支払日

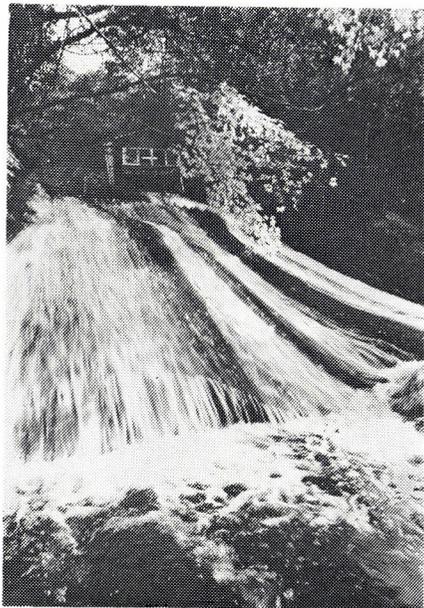
5月12日(日) 5月25日(日)

町役場の支払日は、事務整理の都合上、勝手ながら五のつく日に定めています。ただし、当日が土・日・祭日にあたる場合は翌平日になります。支払時間は午前九時から午後三時までです。



所が二カ所あります。このように、豊富な水も谷が深く、以前は一般に利用されず、大字草部、芹口地区の人たちの生活は、日常用水すら十分でなく、生産性の低い畑作農業に苦勞してきました。大正十一年、芹口の故後藤太氏の非常な努力と犠牲によって、川走川支流の白水川に貯水池をつくり、ここから水路を開き、約四十畝の水田が開け、数百年来住民待望の稲穂を見ることができました。

## 清涼誘う山峡の溪流



清流豊かな木郷の滝

宮原・南郷

## 川走川

# 高森百景

〈8〉

清栄山に源を發し、高森町と蘇陽町の境を瀬となり滝となつて流れる川、川走川は猿丸、高尾野、中島、白水などの細流を合わせ、やがて大流となつて五カ瀬川に合流し、遠く日向の海に注いでいます。この水辺の迫りには約二十畝の稲田が散在、また旭化成工業経営の水力発電

その後、人替わり時移り、施設の整備拡張、耕地整理が進み、現在では百六十畝の美田が得られ豊かな米どころとなりました。川走川はまこと母なる川といえます。近年、白水川の清流を利用して、ヤマメの養殖が盛んに行われています。木郷坂の大曲りを少し入ったところに養魚池があり、川魚料理の客席も設けられ、かなりのにぎわいを見せて

います。この一帯は白水の滝をはじめとして大小いくつもの滝が連らなっています。湖やよどみには天然のヤマメやアブラメの姿も見えます。宮交、ス停「釣橋」付近の川原は凝灰岩の一枚岩で、水遊びにかっこうな場所です。カエデの太木が枝を張って日陰をつくってくれますし、秋ともなれば紅葉が流れを美しく染めます。

〇ゆふ涼みいまゆきてまし夏の夜の月さへわたる白水のはし  
甲斐 有雄  
〇根に注ぎ葉を潜って水源幽なり 石に激し砂を浸して大流となる 人生の行程正に此の如し

## 援護たより

満洲開拓青年義勇隊の訓練を終了して、義勇隊の組織がそのまま移行した義勇隊開拓団員が、準軍属の範囲に加えられることになった。

当時、旧満洲で軍の指示等により、軍用道路の建設などの業務に従事して傷病にかかり、後遺症が残っている方に、程度に応じて障害年金が支給されます。また、不幸にも死亡された

方の妻や父母に対しても遺族給与金が支給されます。未請求の方は役場町民課福祉第一係へお問い合わせください。

## 義勇隊開拓団員を準軍属の範囲に加える

援護法

なお、次に掲げる点に留意してください。

①昭和二十年八月九日(日)開戦の日)前にかかった傷病は、軍事に関する業務に関連する

る傷病に限られます。②昭和二十年九月二日以後にかかった傷病は、自己の責任ではない事由によるもののうち、

厚生大臣が業務上の傷病と同視する傷病に限られます。③昭和二十年八月九日から九月一日までにかかった傷病は、業務上の傷病が認められます。

# 盛り上げよう風鎮祭

17日〜18日 造り物、仮装など多彩に

肥後の三馬鹿騒ぎの一つに数えられる「風鎮祭」を、今年も町および町商工会共催で、八月十七日から十八日にかけて盛大にくりひろげます。

風鎮祭は別名を「やまひき」と呼んでいるように、日用雑貨で作った名物の「造り物」が祭りの呼び物で、その山(造り物)を引きだてる「やまひき」がクライマックス。期間中は、例年通り中央四ツ角を中心に、上町、下町、横町

の一部が歩行者天国となるほか、昭和から旭通りにかけても交通規制することになっています。臨時バスは、産交高森営業所の協力で、十七日が午後九時半、十八日は同九時に下色見経由洗川行き、下田線經由栃木行きが運行される予定です。また熊日ちびっこスケッチ大会参加希望者は、風鎮祭事務局(桐原薬局隣り)で画用紙を受け取ってください。なお、今年は県下全域において

④満洲開拓青年義勇隊の隊員としての訓練を終了せず、直接義務隊開拓団員となった方は、処遇の対象から除かれます。⑤今回の処遇の対象となる義勇隊開拓団員が、すでに軍人、軍属または準軍属の身分を有している場合は、それらの身分によってすでに処遇されていますので、今回の処遇の対象から除かれます。⑥受給権の発生日は五十六年十月一日です。

本町青年団は惜しくも8位 郡青年総合祭 第二十回阿蘇郡総合青年祭(郡青年団協議会主催)は、七月四日高森町畜産センターを主会場に、十六種目の競技が繰りひろげられ、十二町村の若者三百人が元氣いっばいの力と技をぶつけました。本町勢は地元を勝たせかけた総合優勝に期待がかけられました。出場選手の層の薄さと棄権種目が多く、総合八位と成績不振でした。本町関係の入賞種目は次のとおりです。



文化・生活改善の展示会場

## 待望のゲートボール場

町民センター南隣に完成



広くなったコートでゲートボールを楽しむお年寄りたち

町が町民センターの南隣に拡張を進めていたゲートボールコートがこのほど完成、お年寄りたちは「これで気がねなく思いっきり試合ができる」と大喜びです。新しいゲートボールコートは、高森製材事業協同組合から無償貸与された空き地を整地したもので、広さは二千二百八十平方メートル、従来のコートと合わせて使うと、七組が同時にゲームを楽しむことができます。

つめかけると手狭。大会を開く場合は学校グラウンドを使わなければならず、学校の休み以外は「開催不能」といった状態で、老人会からはいつでも大会が開かれる町営コートを拡張してほしいと陳情があっていました。

本町のゲートボール愛好者は年々増加し、各老人クラブだけでなく、壮年の層もかなり厚くなりました。練習にはそれぞれが各地区で作ったコートや公共の広場を利用して

作業には老人会も交代で集まり、麦わら帽スタイルで焼きつくような日差しの中で和気あいあい、作業に汗を流しました。背丈もある雑草や廃材の山も取り除かれ、三カ月あまりで見事なゲートボールコートが出来上りました。コート開きには、体協・老連共催のゲートボール大会が開かれ、お年寄りたちは、天気いっばいに熱戦を繰りひろげていました。

# 鳥を放る90キジ幼

## 禁・休猟区の3カ所に



草部北部小学校児童によるキジの放鳥

年々減る野鳥のキジを増やそうと、本町は県の依頼を受けて、七月十七日高森峠や草部北部小学校で九十羽のキジを放鳥しました。

南阿蘇外輪山の山岳原野は、かつてはキジなどの狩猟地として知られていましたが、ハンターの増

加や開発の進行などで野鳥が減り減りました。

この日放鳥したのは西原村の竹下野生化場で育てられた生後六十日のオス、メス四十五羽ずつで、体長は約三十センチ。午後十一時から経済課職員らが上色見の保護区を

### 児童扶養手当・特別児童扶養手当

#### 九月分から支給額引上げ

児童扶養手当は、父と生計を共にしていない児童を扶養する人（母または母以外の養育者）に支給される手当です。また、特別児童扶養手当は、障害児を養育する人

（父か母または父母以外の養育者）に支給される手当です。

この二つの手当の支給額が改定され、今年の九月分から増額されます。改定額は次のとおりです。

- 【児童扶養手当】▼養育児童一人の場合Ⅱ三万一千二百円Ⅲ三万二千七百円▼養育児童二人の場合Ⅱ三万六千二百円Ⅲ三万七千七百円
- 【特別児童扶養手当】▼一級障害児童の場合Ⅱ三万六千円Ⅲ三万七千七百円▼二級障害児童の場合Ⅱ二万四千元Ⅲ二万五千元

### 不動産の売買依頼は まず契約書の作成を

#### 宅建取引法が一部改正

県土木部建築課では、不動産の売買を宅建業者に依頼するときは口約束でなく、契約書を取り交わ

すよう呼びかけられています。

これまで不動産の売買を宅地建物取引業者に依頼するほとんどの人が口約束によるものでしたが、口約束の場合は内容が不明確なため、後になって依頼者と宅建

業者の間でトラブルが多く見られました。このようなトラブルを防ぐため、このほど宅地建物取引業法が改正になり、「媒介契約」の制度が新設されたわけです。

後で問題が起らないように、不動産の売買を宅建業者に依頼するときは、必ず契約書を取り交わしてください。

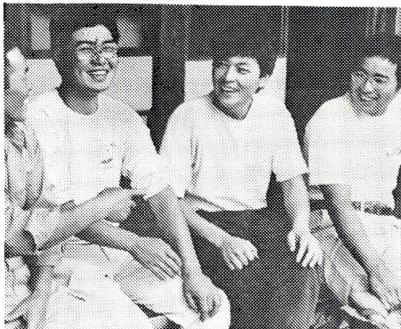
### 北海道西部十勝の鈴木さん

#### 高森にひよっこり

昨年、本町の農家で研修した北海道西部十勝の青年が、このほど一人でひよっこり来町、顔見知りになった町の若者たちと友情を温めあいました。

農業後継者・鈴木栄さん（三）。昨年十一月に北海道西部十勝労働青年国内研修生の一員として南阿蘇入り、とりわけ町青年団と親睦くを深めていました。滞在中は人情味豊かな地域の人たちとの出会いや、雄大な阿蘇五岳に魅せられ、帰郷後は顔なじみになった青年らと再会を願っていたといいます。

今回は農作業が一段落したのを見はからってマイカーで北海道を出発、日本海側を南下して約二千五百キロを走り続けました。



本町青年と談笑する鈴木さん（右から二人目）

本町青年らの出迎えを受けた鈴木さんは「昨年の研修ではお世話になりました。長い旅でしたがふるさとに帰ったようです」とあいさつ。前回民泊した津留元親さん宅に落ち着いて、研修の思い出やお互いの農業の近況などについて語り合っていました。



初盆を迎えるご家庭

ご遺族のお名前、続柄、お亡くなりになられた方となっています。

色見地区

- 徳丸キクエ 弟 徳丸 勝
後藤 リキ 三男 後藤 博文
後藤 郁子 夫 後藤 則利
後藤 為継 父 後藤 為敏

高森地区

- 山田 金光 母 山田ハツノ
村山 清二 父 村山 幸平
工藤 良市 長男 工藤 一義

草部地区

- 野依 謙一 母 野依 妙皓
寺本 隆子 夫 寺本 允禮
竹林 松子 夫 竹林 力男

野尻地区

- 甲斐 ミツ 夫の母 甲斐イツエ
野尻 一人 父 野尻 智
甲斐 新 父 甲斐 春男

お参りの接待はお茶だけに
お参りするときの包み銭はローソク、線香代という本来の趣旨にかえり、見えをばらないように。また初盆の接待はお茶だけにしましょう。

社会教育委員会

- 野尻 昭敏 父 野尻 時人
伊藤 義昭 二女 伊藤 良美
瀬井 マタ 夫 瀬井 一春